



東京ベイ通信

救急集中治療科(集中治療部門)のご紹介

救急集中治療科(集中治療部門)について

東京ベイ・浦安市川医療センターのICUとHCUは、それぞれ14床と12床のベッドを有しています。当院のICUには、専属の集中治療専門医が常勤しており、重症度の高い患者にも対応できます。また、HCUはナースの目とモニター類により、常に患者の安全を確認できるため、急性期を脱してはいるもののまだ多くのモニターとケアが必要なICUからの患者や入院時に重症化する恐れのある患者などをモニターおよび治療する場であり、当院の病棟の中でもハブ空港のような中心的な役割を担っています。

このICUとHCUにおける患者治療において、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内分泌糖尿病内科、消化器内科、一般外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、コメディカルなど各科間と各職種間に壁は無く、集中治療部門の医師を中心として『患者様のために最も適した専門家と協力しながら治療を行う』ことをモットーとしたチーム医療を行っています。そのため、さまざまな合併症を有した患者にも総合的な治療を行うことができます。

ICU・HCUでのリハビリテーション科のアクティビティーも高く廃用性萎縮防止、早期離床など、患者様が一刻も早く通常の生活に戻れるような努力が行われています。



救急集中治療科(集中治療部門)
部長 則末 泰博

ICU・HCUフロアのご紹介

ICUには2床の陰圧隔離室と、12床の通常ベッド、HCUには1床の陽圧個室と11床の通常ベッドがあります。どちらにも専属の薬剤師がおり、薬品管理が安全かつスムーズに行われています。

ICUとHCUでは高い重症度と稼働率にも関わらず、明るいナース達が笑顔でチーム医療の中心となっています。



← 則末部長と明るいスタッフのみなさん♪